

東京都三士会共通「効果の見える生活期リハビリテーション評価表（訪問版）」ver1.1

氏名： _____ (男・女) 生年月日： M・T・S・H 年 月 日 ()

疾患名： _____ 既往症： _____

介護度： 非該当 / 要支援 1・2 / 要介護 1・2・3・4・5 記入者名： _____ (職種)

<支援方針>

生活の目標		自己評価	①評価日 (年 月 日)	②評価日 (年 月 日)
<ご本人から聞かれた希望>		実行度	/ 10	/ 10
<達成可能な目標>		満足度	/ 10	/ 10
<ご本人から聞かれた希望>		実行度	/ 10	/ 10
<達成可能な目標>		満足度	/ 10	/ 10

<ご家族の希望> _____ <リスク> _____

<1日の過ごし方>

時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
①評価日																								
②評価日																								

評価項目		自立	見守り	言語指示	身体介助	全介助	主観的実行度	予後予測	実際に行っている状態	環境 (人的・物理的)	問題点 ・身体 ・高次脳 ・環境 ・精神 ・認知 など	優先項目	優先項目にした根拠
I 基本動作	①寝返り	5	4	3	2	1	/10	股部のずらし動作(可・不可) つかまり(有・無) ふとんのかげはずし(かける・はく)	柵の使用(有・無) マット(硬質マット・除圧マット・エアマット)				
	②起き上がり	5	4	3	2	1	/10	ふとんのかげはずし(かける・はく) つかまり(有・無)	柵の使用(有・無) 背上げの使用(有・無) マット(硬質マット・除圧マット・エアマット)				
	③座位	5	4	3	2	1	/10	耐久性(有・無) 重心移動(可・不可) つかまり(有・無) リーチ範囲(狭・広)	背もたれ(有・無) 座面(硬・普通・軟) 介助バー(有・無)				
	④立ち上がり	5	4	3	2	1	/10	つかまり(有・無) フッシュアップ(有・無) 前方重心移動(可・不可)	評価場面() 座面高(低・普通・高) 手すりの使用(有・無)				
	⑤立位	5	4	3	2	1	/10	耐久性(有・無) 重心移動(可・不可) つかまり(有・無) リーチ範囲(狭・広)	支持物の使用(有・無) 床面(フローリング・畳・カーペット・滑り止め)				
II 移動	屋内	⑥歩行	5	4	3	2	1	/10	段差(可・不可) 速度(遅い・普通・速い) 距離(メートル) 補助具(無・T杖・4点杖・歩行器・歩行車)	装具(有・無 _____) 床面段差(有・無) 転倒歴(有・無)			
		⑦車いす	5	4	3	2	1	/10	姿勢保持(良・不良) 自走(足こぎ・手操作) 座位耐久性(分)	自走型・介助型 手動・電動() クッション(座・背) 床面段差(有・無) 転倒歴(有・無)			
	屋外	⑧歩行	5	4	3	2	1	/10	段差(可・不可) 速度(遅い・普通・速い) 距離(メートル) 補助具(無・T杖・4点杖・歩行器・歩行車)	装具(有・無 _____) 路面段差(有・無) 転倒歴(有・無) 路面環境(整地・不整地・坂道)			
		⑨車いす	5	4	3	2	1	/10	姿勢保持(良・不良) 自走(足こぎ・手操作) 座位耐久性(分)	自走型・介助型 手動・電動() クッション(座・背) 路面段差(有・無) 路面環境(整地・不整地・坂道) 転倒歴(有・無)			
III 移乗	⑩階段昇降	5	4	3	2	1	/10	2足1段 / 1足1段 手すり使用(有・無)	転倒歴(有・無) 手すり(無・右・左・両方) 昇降機・エレベーター				
IV 食事	⑪ベッド・いす・車いすに乗り移る	5	4	3	2	1	/10	いざり・フッシュアップ・立位 アプローチ(前方・側方・後方)	手すり・リフト・スライディング(ボード・シート) 座面高(低・普通・高) 座面高調整(要・不要)				
V 排泄	嚥下	⑫食事	5	4	3	2	1	/10	摂取方法：経口・経口と経管栄養 併用・経管栄養 所用時間：()分 疲労(有・無) 摂取量：()割 摂取回数：()回/日 むせ込みの頻度：無・少・多 むせ込みの力：強・弱	食物形態：調整の必要性(有・無) (ごはん) おかず() 嚥下方法：複数回嚥下・交互嚥下・背上げ(度) その他() 吸引器使用：有・無 使用者()			
		⑬水分	5	4	3	2	1	/10	摂取方法：経口・経口と経管栄養 併用・経管栄養 摂取量：()ml 摂取回数：()回/日 むせ込みの頻度：無・少・多 むせ込みの力：強・弱	水分形態：増粘剤の使用(有・無) /ゼリー化 水()mlに対して増粘剤()g 嚥下方法：複数回嚥下・交互嚥下・背上げ(度) その他() 吸引器使用：有・無 使用者()			
		⑭服薬	5	4	3	2	1	/10	服薬方法：経口・非経口() むせ込みの頻度：無・少・多 むせ込みの力：強・弱	薬剤の形態：錠剤・散剤・カプセル・オブラート ゼリー・水分に溶かす・食物等への添加 その他()			
V 排泄	⑮食事動作	5	4	3	2	1	/10	使用している側(利き手・非利き手) 食事姿勢(いす座位・車いす・ リクライニング車いす・ベッド)	箸・スプーン・フォーク 自動具() 装具(有・無 _____) 介助者() 介助力(良・不良)				
		⑯トイレ動作	5	4	3	2	1	/10	便座の立ち座り(可・不可) 清拭(可・不可) 下衣の上げ下ろし(可・不可) 特記事項()	実施場所(トイレ・居室・その他) 用具(ポータブルトイレ・尿器・手すり・ その他の用具())			
		⑰排尿管理	5	4	3	2	1	/10	失禁(有・無) 頻度(週1回程度の失禁・1日1回以上の失禁) 特記事項()	服薬管理(要・不要) 時間誘導(要・不要) (オムツ使用・パッド使用・リハビリパンツ使用) その他環境配慮()			
⑱排便管理	5	4	3	2	1	/10	失禁(有・無) 頻度(週1回程度の失禁・1日1回以上の失禁) 特記事項()	服薬管理(要・不要) 時間誘導(要・不要) (オムツ使用・リハビリパンツ使用) その他環境配慮()					

VI 入浴	㉑入浴	5	4	3	2	1	/10	()回/週 浴槽の入り方(立ちまがき・座りまがき・シャワー浴) 浴室内移動(可・不可・見守り) 支持物(有・無) 特記事項()	場所(自宅浴室・施設・その他()) 用具(バスボード・手すり・その他()) 介助人数()人 家族・ヘルパー・その他				
	㉒洗体	5	4	3	2	1	/10	()回/週 洗髪(可・不可) 体前面(可・不可) 背中/殿部(可・不可) 足先(可・不可) その他()	場所(自宅浴室・施設・その他()) 用具(シャワーチェア・手すり・その他()) 介助人数()人 家族・ヘルパー・その他				
VII 着替え	㉓上衣 (下着も含む)	5	4	3	2	1	/10	座って実施・立って実施 服を整えることの介助(要・不要) 特記事項()	自助具の使用(有・無()) 普段着ている衣服の形態() 介助者(家族・ヘルパー)				
	㉔下衣 (下着も含む)	5	4	3	2	1	/10	臥位で実施・座って実施・立って実施 服を整えることの介助(要・不要) 特記事項()	自助具の使用(有・無()) 普段着ている衣服の形態() 介助者(家族・ヘルパー)				
VIII 整容	㉕洗顔	5	4	3	2	1	/10	座って実施・立って実施 十分に洗えている(可・不可) 習慣的に実施・入浴時のみ その他()	場所() 用具() その他環境配慮()				
	㉖整髪	5	4	3	2	1	/10	座って実施・立って実施 清潔に保っている(可・不可) 特記事項()	場所() 用具() その他環境配慮()				
	㉗ひげ剃り、化粧	5	4	3	2	1	/10	頻度(習慣的・外出時・たまに) 肌の手入れ程度・化粧をする 特記事項()	場所() 用具() その他環境配慮()				
IX 口腔衛生	㉘歯磨き	5	4	3	2	1	/10	使用している側(利き手・非利き手) 義歯()	歯ブラシ・粘膜用ブラシ・歯間ブラシ・舌ブラシ 自助具の使用(有・無())				
	㉙うがい	5	4	3	2	1	/10	ガラガラうがい・ブクブクうがい・清拭・吸引	コップ(普通・自助具)・ガーゼ・スポンジブラシ・ 吸引機能付きブラシ・吸引器				
X 参加・活動	㉚趣味・余暇活動	5	4	3	2	1	/10	行っていること() 頻度()回/週 特記事項()	<道具や環境の配慮>				
	㉛家庭内の役割	5	4	3	2	1	/10	行っていること() 頻度()回/週 特記事項	<道具や環境の配慮>				
	㉜外出	5	4	3	2	1	/10	目的の場所へ外出できている(可・不可) 場所() 外出頻度()回/週 特記事項()	用具(車いす・電動カート・その他()) 介助者(家族・その他()) その他環境的配慮()				
XI 管理	㉝金銭管理をする	5	4	3	2	1	/10	特記事項()	管理者(家族・その他()) その他環境的配慮				
	㉞服薬管理をする	5	4	3	2	1	/10	飲み忘れ(しばしば・時々・ごくまれに・なし) 特記事項()	用具(服薬カレンダー・ボックス・一包化・) セッター(家族・その他()) その他環境的配慮()				
評価項目		良好	やや良好	援助にて可	やや困難	困難	主観的実行度	事後予測	実際に行っている状態	環境 (人的・物理的)	問題点 ・身体面・高次脳機能 ・精神面・認知機能 ・環境	優先項目	優先項目にした根拠
★ コミュニケーション	理解	㉟指示理解	5	4	3	2	1	/10	刺激：音声・文字・ジェスチャー・記号・ その他()	①物品：筆記用具・コミュニケーションノート・ 携帯電話・補聴器・眼鏡・その他() ②人物：コミュニケーション支援者() 対応(良・不良)			
		㊱会話理解	5	4	3	2	1	/10	刺激：音声・文字・ジェスチャー・記号・ その他()	①物品：筆記用具・コミュニケーションノート・ 携帯電話・補聴器・眼鏡・その他() ②人物：コミュニケーション支援者() 対応(良・不良)			
		㊲メディア 情報の理解	5	4	3	2	1	/10	刺激：音声・文字・ジェスチャー・記号・ その他()	①物品：テレビ・新聞・雑誌・ラジオ・パソコン・ 携帯電話・その他()			
	表出	㊳基本的要求 の表出	5	4	3	2	1	/10	発語・書字・音読・ジェスチャー・指さし・描画・ 表情・はいいいえ・コミュニケーションノート・ コミュニケーション機器()・ その他()	①物品：筆記用具・コミュニケーションノート・ 携帯電話・眼鏡・その他() ②人物：コミュニケーション支援者() 対応(良・不良)			
		㊴日常会話	5	4	3	2	1	/10	発語・書字・音読・ジェスチャー・指さし・描画・ 表情・はいいいえ・コミュニケーションノート・ コミュニケーション機器()・ その他()	①物品：筆記用具・コミュニケーションノート・ 携帯電話・眼鏡・その他() ②人物：コミュニケーション支援者() 対応(良・不良)			
		㊵複雑な内容 の意思伝達	5	4	3	2	1	/10	発語・書字・音読・ジェスチャー・指さし・描画・ 表情・はいいいえ・コミュニケーションノート・ コミュニケーション機器()・ その他()	①物品：筆記用具・コミュニケーションノート・ 携帯電話・眼鏡・その他() ②人物：コミュニケーション支援者() 対応(良・不良)			
対人 交流	㊶家族または 身近な支援者 との交流	5	4	3	2	1	/10	発語・書字・音読・ジェスチャー・指さし・描画・ 表情・はいいいえ・コミュニケーションノート・ コミュニケーション機器()・ その他()	①対象者：家族・友人・知人・スタッフ・ その他() ②場所：自宅・自宅外()				
	㊷家族以外の 人との交流	5	4	3	2	1	/10	発語・書字・音読・ジェスチャー・指さし・描画・ 表情・はいいいえ・コミュニケーションノート・ コミュニケーション機器()・ その他()	①対象者：家族・友人・知人・スタッフ・ その他() ②場所：自宅・自宅外()				

<事後予測欄への記入方法>◎…改善可能 ○…維持可能 △…改善・維持の可能性低い ★コミュニケーションについては、マニュアルの評価基準を参照

<見込まれる効果>

<得られた効果>

<残された課題>